

場所	H117	H111	H116	H118	H119A	H119B
座長	関 真也	小林 和人	杉光 一成	鈴木 香織	北田 透	田中 義敏
	ブランド、デザイン	先端技術・国際標準	知財制度論	著作権、コンテンツマネジメント	その他(知的財産の新領域)	学生発表
10:00	1A1 Fantini Ramirez Giovana 大阪工業大学 COMPARATIVE ANALYSIS BETWEEN MEXICO AND JAPAN REGARDING COUNTERFEITING AND TRADEMARK PIRACY	1B1 李 テイ 株式会社プロパティ AIにおける特許文献の機械翻訳活用の現状と今後の課題	1C1 川本 篤 日本弁理士会意匠委員会 改正意匠法(関連意匠制度について)に関する報告	1D1(インテンシブ) 今村 哲也 明治大学 改正著作権法35条の下でのライセンス・スキームに関する考察	1E1 高田 恭子 大阪工業大学 学部横断型産学連携と知的財産マネジメント—ソフトロボティクス分野におけるデザイン思考イノベーションの実現— 梅田嵩晶、楠直也、三橋晃、香坂泰吾	
10:20	1A2 川上 成年 株式会社知財デザイン テキストマイニングを使用したブランドQFDの作成 長谷川陽一	1B2 沙魚川 久史 東京理科大学総合研究院 協働的価値形成を加速するための商品開発プロセスの力点変化—ビジョン指向へのシフト— 佐藤智文、竹内均、加藤大暁	1C2 村上 画里 大阪大学 画像デザインの保護—不正競争防止法の視点—		1E2 山崎 忠史 知財戦略プロモーターズ株式会社 特許管理システムの課題と知財戦略との融合化 始澤信、増田孝志	
10:40	1A3 吉岡(小林) 徹 一橋大学 意匠の引用データから見る他分野のデザイン開発に影響を与えている製品分野の推定 片岡純也、秋池篤	1B3 佐藤 智文 東京理科大学総合研究院 ビジョン指向による商品開発プロセスの力点変化と知財マネジメントの関係整理 沙魚川久史、竹内均、加藤大暁	1C3 草間 裕子 立教大学ビジネスロー研究所 国外における営業秘密侵害の準拠法 -マレーシアの裁判例を中心に	1D3 加藤 直規 知的財産研究家 美術の著作物の営利を目的としない展示—引用で第三者著作物の利用を合法と解釈できるか?	1E3 綾木 健一郎 特許業務法人磯野国際特許商標事務所 特許請求の範囲の先行詞等のチェックツールの開発とその効果測定	1F3 雷 爽 東京大学工学系研究科技術経営戦略学専攻 社会人の学び直しと学習効果に関する研究 平井祐理、高野泰朋、吉岡(小林)徹、渡部俊也
知財経営						
11:00	1A4 五所 万実 慶應義塾大学大学院 記述的商標の認定に関する言語学的考察	1B4 乾 利之 IPNJ国際特許事務所 第4次産業革命による業態変化が知財戦略・活動に与える影響についての一考察 田中義敏	1C4 新井 宏 日本弁理士会不正競争防止法委員会 営業秘密に関する裁判例の分析(2013年から2017年)	1D4 星野 豊 筑波大学人文社会系 研究指導者による指導対象論文からの盗用	1E4 三浦 敦子 東海特許事務所 機械学習を用いた特許文書の分析方法の提案と評価 青山幹雄	1F4 菅井 内音 東京工業大学 パズツール型スター・サイエンティストの特許分析 隅蔵康一、牧兼充
休憩						
座長	西村 雅子	藤野 仁三	小川 徹	八木 孝雄	金間 大介	立本 博文
				知財人財育成、知財教育		
12:20		1B5 二又 俊文 東京大学未来ビジョン研究センター 米クアルコム社に見る知財モデルの研究—米国2019年サンノゼ判決から分析する「鉄壁の知財モデル」 植木正雄	1C5(インテンシブ) 井手 李咲 (一財)知的財産研究教育財団 知的財産研究所 記号学アプローチによる標識知財制度の基礎理論に関する一考察 —商標と地理的表示を素材に	1D5(インテンシブ) 富畑 賢司 大分大学 医看工芸連携活動に寄与する知財マインドを高めるためのしくみづくり 野田佳邦、加藤幹、吉田悦子、富田直秀、辰巳明久	1E5 菅野 政孝 日本大学法学部 特許検索式の自動生成に関する一考察 御厨健太	1F5 坂口 公希 大阪工業大学大学院知的財産研究科知的財産専攻 若年層の知的財産教育に関する研究—知的財産リテラシー検定の提案と検証— 村川一雄
12:40		1A6 稲穂 健市 東北大学 大学キャラクターから見た大学のブランド戦略に関する検討	1B6 大和田 昭彦 次世代パテントプラットフォーム研究会 FTC v. Qualcomm (米国、連邦地裁、2019)における反競争法的行為及びその考察 小林和人、小池秀雄、三沢岳志	1C7 栗原 佑介 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 ラグジュアリーフレグランスの知的財産法による保護に関する一考察	1D7 吉田 悦子 大阪大学知的基盤総合センター 医看工芸連携を志向した創造型知的財産教育モデルの開発—医療機器開発・看護分野を題材として 八木雅和、加藤幹、上西啓介、大野ゆう子、辰巳明久	1E6 北田 透 横浜市建築局建築指導部 生産物に対する資本、労働、研究者及び業種ごとの利用・未利用特許への分配に関する考察
13:00	1A7 中嶋 和昭 日本弁理士会農林水産知財対応委員会 地域の農産品のブランド化と知的財産権の関係について	1B7 仁平 洋一 一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産教育協会 知的財産管理技能士会研究会 GAFAを先例に、アジア進出したスタートアップに知財管理技能士が支援すべきことの一考察 村谷正之、星野勝志	1C8 中山 博登 日本弁理士会 商標委員会 不使用取消審判における「商標的使用」の要否に関する「社会通念上同一」の意味を検討した上での考察	1D8 平井 祐理 東京大学 戦略タスクフォースリーダー養成プログラムを事例とした社会人の学び直しに関する研究 渡部俊也	1E7 後藤 時政 愛知工業大学 経営学部 経営学科 知財を活用し付加価値創造を最大化する組織能力の考察—パテントケイパビリティおよびIPケイパビリティ— 羽田裕、福澤和久、野中尋史	1F7 北岡 光 大阪工業大学大学院知的財産研究科知的財産専攻 有償開放特許を用いたビジネス化に関する研究—事例分析とビジネス化の提案— 村川一雄
知財経営						
13:20	1A8 鍾 亦琳 萬國専利商標事務所 台湾における日本語商標の審査現状	1B8 永井 武 法政大学大学院政策創造研究科 日中韓にみる懲罰的賠償制度のあり方を考察する 馬場錬成			1E8 阿部 仁 IPクリエイティブオフィス 知的財産によるSDGsへの貢献	1F8 楊 營 大阪工業大学 営業秘密の漏洩防止に係る不正競争防止法に関する研究 村川一雄
休憩						

場所	H117	H111	H116	H118	H119A
座長	野崎 篤志	井手 李咲	浅見 節子	村松 浩幸	菅野 正孝
	知財経営	知財に関する国際問題	知財制度論	知財人材育成、知財教育	その他(知的財産の新領域)
14:00	<p>1A9 下出 一 株式会社サピエンティスト</p> <p>知財価値評価技法であるニーズデザインメソッドのモノ分野以外での利用可能性についての考察 北村光司、都築泉、寺地洋之、宮脇一、西脇美奈子</p>	<p>1B9 森 哲也 特許業務法人日栄国際特許事務所</p> <p>東南アジアの新興「先進国」における「法の支配(rule of law)」と知的財産制度のあり方に関する考察</p>	<p>1C9 長内 悟 NEDS</p> <p>明細書を参照して発明を特定する記載がある請求項についての調査研究</p>	<p>1D9 陳 愛華 重慶大学経済与工商管理学院</p> <p>知財人材育成とイノベーション・起業教育との連携について探索 岡田廣司、世良清</p>	<p>1E9 張 睿暎 獨協大学 法学部</p> <p>知的財産分野におけるブロックチェーン技術の活用可能性と課題</p>
14:20	<p>1A10 飯塚 雄基 福岡大学 商学部</p> <p>知的財産会計と概念フレームワーク</p>	<p>1B10 古谷 真帆 東京大学未来ビジョン研究センター</p> <p>知的財産と中米貿易関係 劉海波、張亜峰</p>	<p>1C10 滝田 清暉 IP国際技術特許事務所</p> <p>特許発明の多重性-完全同一である実施例を有する特許発明は、適法に存在し得るか？</p>	<p>1D10 Beltran Manzanero Elda Patricia 大阪工業大学</p> <p>Awareness raising strategies on industrial property rights in Japan and Mexico</p>	<p>1E10 三沢 岳志 次世代パテントプラットフォーム研究会</p> <p>輸出型産業における特許の出国戦略動向とその分析 小林和人、小池秀雄、大和田昭彦</p>
14:40	<p>1A11 谷 豊文 日本弁理士会 知的財産経営センター</p> <p>大学特許の価値評価ツールの提案</p>	<p>1B11 靄岡 聡史 慶応義塾大学</p> <p>知財における近代日本の「開国」と欧米諸国—明治29(1896)年の外国人への権利付与開始を巡る攻防—</p>	<p>1C11 松本 剛 株式会社ポラ・オルビスホールディングス</p> <p>研究開発職のモチベーション要因の特定および発明報奨金等によるインセンティブ効果 杉浦正和</p>	<p>1D11 川原 英昭 大阪工業大学 知的財産学部</p> <p>特許法等の条文の括弧書きの外出しによる条文把握の容易化</p>	<p>1E11 後藤 祐至 株式会社プロパティ</p> <p>外国特許文献の検索における注意点及びその比較分析</p>
15:00	<p>1A12 筒井 宏彰 国立大学法人 山梨大学</p> <p>新規開発した大学特許の価値評価ツールの試行結果</p>	<p>1B12 胡 勇 筑波大学大学院終了</p> <p>再び、模倣品の「価値」について—中国携帯電話産業の発展経緯から 星野豊</p>	<p>1C12 川上 正隆 知的資産活用センター</p> <p>無効事由を内在した特許査定に対する国家賠償請求についての理論的枠組み～求められる審査の質とは</p>	<p>1D12 岡田 廣司 東京福祉大学</p> <p>社会福祉領域における知財創造活動がもたらした留学生支援に関するソーシャルワーク・エンパワメント 世良清、陳愛華</p>	<p>1E12 湯本 長伯 社会構造設計研究所</p> <p>新知的財産としてのプログラム概念の整理と提案について</p>
15:20	<p>1A13 Calderon Aguinaga Jesus 大阪工業大学</p> <p>MAKING MEXICAN UNIVERSITY STRONGER BY MEANS OF IP ASSETS PRODUCED WITH INDUSTRY</p>		<p>1C13 石埜 正穂 札幌医科大学医学部</p> <p>医薬品の開発インセンティブの視点から見た特許制度と薬事制度の整合性</p>		